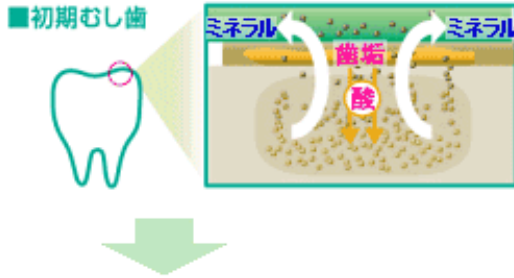


<図1>

「初期むし歯」なら、まだ間に合うかも!

「初期むし歯」とは・・・



「初期むし歯」とは、歯垢から出る酸によって、歯からミネラルが溶け出し、表面からわずかに内側の密度が低くなった状態のこと。穴があく一歩手前の状態で、歯の検診では「C0(シーオー):要観察歯」と診断されることもあります。自覚症状がなく、外見上も健康な歯とほとんど変わらないため、見逃しやすいのですが、実はこの段階でのケアがとても重要です。というのも、いったん穴があいて、むし歯になってしまうと、歯科医院での治療が必要となりますが、「初期むし歯」の段階なら、毎日のケア次第で、健康な状態に戻る可能性があるからです。

エナメル質表層付近の
2つのフッ素が、内側・外側で効く!* 薬用クリアクリーンプラスの「むし歯予防力」

薬用クリアクリーンプラスで磨くたび・・・

2つのフッ素 (NaF・MFP) が、歯に吸着。

*2 モノフルオロリン酸ナトリウム
*3 フッ化ナトリウム

*1 フッ素はエナメル質表層付近の領域 (表面からの深さ、0～約300µm) で働きます。外側(0～約50µm)ではNaFが内側(約50～約300µm)ではMFPが主に作用して、むし歯の発生と進行を防ぎます。

歯の再石灰化を促進して初期むし歯のうちにむし歯予防!

フッ素が作用できるのは、エナメル質の表面からおおよそ300µmの領域です。2つのフッ素NaFとMFPを同時に歯に作用させたとき、領域内の部位ごとに主となって働くフッ素が異なってきます。歯の表面に近い「外側」(表面からの深さ、0～約50µm)でむし歯を予防する作用は、NaFの働きによるものが大きく、歯の表面から遠い「内側」(約50～約300µm)でむし歯を予防する作用は、MFPの働きによるものが大きいのです。

クリアクリーンプラスは、2つのフッ素がエナメル質表層付近の内側・外側で作用して、初期むし歯の再石灰化を促進し、むし歯の発生と進行を防ぎます。